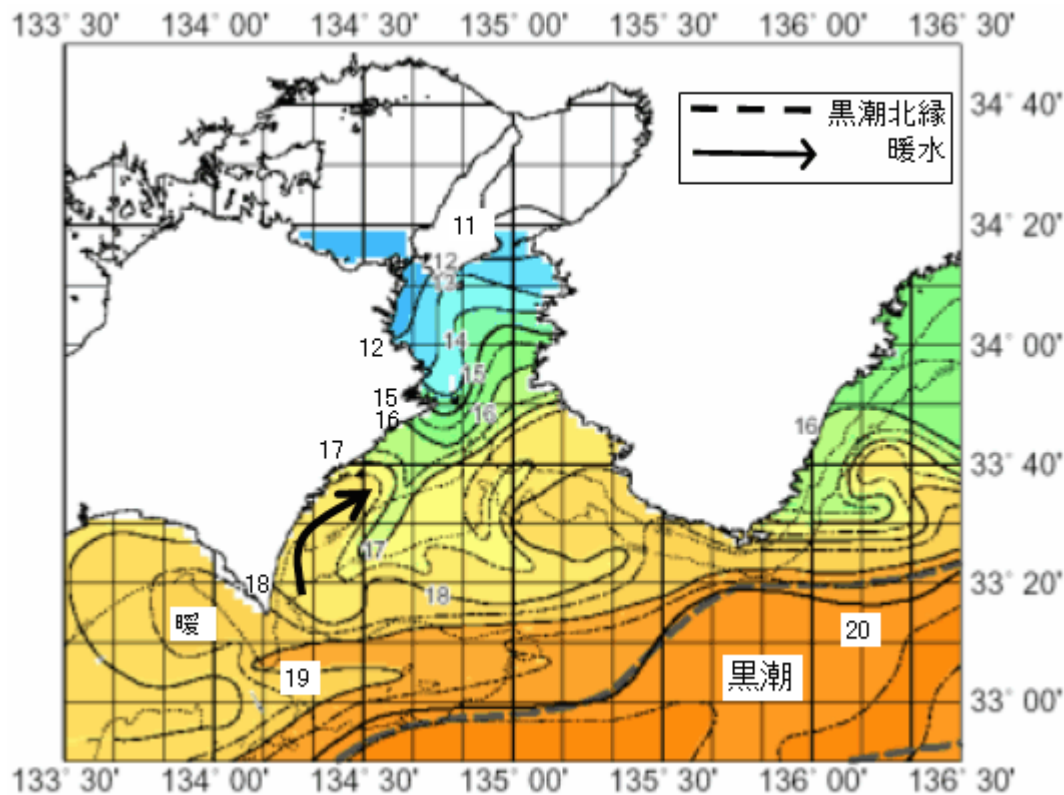


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.03.24)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。

表面水温は播磨灘が10℃台、紀伊水道内部が11～16℃台、外域が15～18℃台である。16℃以下の紀伊水道内海系水が南下し、蒲生田岬南部を覆っている。室戸岬沖から海部沿岸の牟岐大島付近まで18℃台の暖水の流入がみられる。

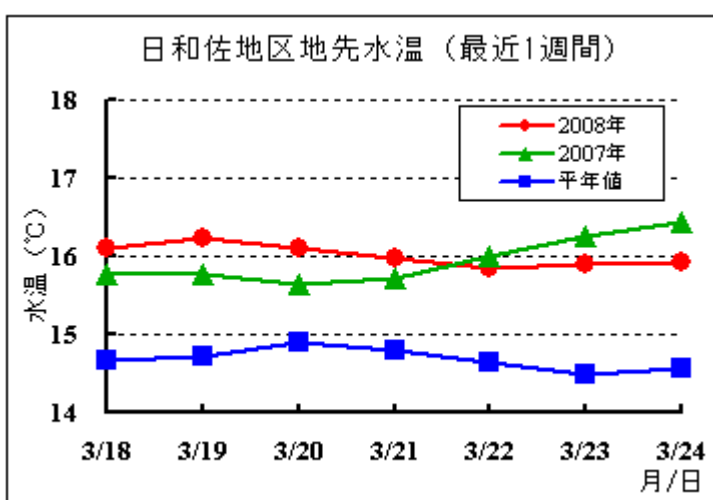
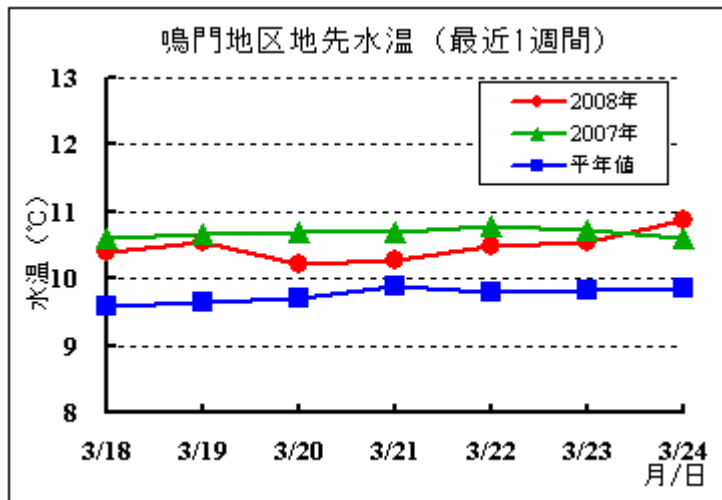
漁業調査船「とくしま」が3月11、13、14、17日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層～50m層までは「やや高め」の16.6～17.1℃、100m層では「平年並み」の15.2℃であった。

海部沿岸海区観測結果 (観測日 2008/03/11,13,14,17)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	17.1	17.0	17.0	16.8	16.6	15.2	今年値	34.6	34.7	34.7	34.6	34.6	34.5
平年偏差	1.3	1.2	1.1	1.0	0.8	-0.1	平年偏差	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
前年偏差	-0.6	-0.6	-0.6	-0.9	-0.9	-1.1	前年偏差	-0.2	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の10.2～10.9℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の15.8～16.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の15.5～17.0℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、キビナゴが1.2トン(1日1隻あたり62kg)、カタクチイワシが1.0トン(同173kg)、小主体にマアジが0.8トン(同29kg)、アオリイカが0.4トン(同9kg)、小小主体にマサバが0.4トン(同42kg)、マルソウダが0.3トン(同28kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、ブリが4.7トン(同669kg)、メジロが0.4トン(同52kg)、小主体にタチウオが0.2トン(同34kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、タチウオが1.8トン(同47kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが1.7トン(同70kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、イカナゴが8.6トン(同375kg)、シラスが1.7トン(同75kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)03月17日～03月23日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	キビナゴ	20	1,235	62	
		カタクチイワシ	6	1,036	173	
		マアジ	26	751	29	小主体
		アオリイカ	44	381	9	
		マサバ	9	377	42	小小主体
		マルソウダ	11	309	28	
大型定置網	海部沿岸	ブリ	7	4,683	669	
		メジロ	7	363	52	
		タチウオ	7	237	34	小主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	37	1,753	47	
		タチウオ	25	1,739	70	特大主体
パッチ網	紀伊水道	イカナゴ	23	8,625	375	
		シラス	23	1,725	75	

### 特異事項:

引き続き海部沿岸で12～13cm程度のアカクラゲが出現しており、沖合よりで多くみられる。

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の11℃台、日和佐地先で「高め」の16℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが42.9トン(1日1隻あたり61kg)、ビンナガが8.8トン(同13kg)、キハダが1.4トン(同2kg)、パッチ網でシラスが92.6トン(同1.5トン)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリが3.2トン、マアジが21.6トン、サバ類が4.4トン、カタクチイワシが27.1トン水揚げされた。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上